

女性に役立つ

ホスピタルガイド

- 転倒による骨折や外傷に注意!
- 災害時女性が気を付けたい病気
- 災害関連死を防ぐため持病の管理を行いましょ
- 非常持出袋に追加しておきたいグッズ

災害時に健康を維持するポイントは?

避難所での生活を考える

女性と防災

手足から女性の健康を支える リウマチ・膠原病と呼吸器疾患専門のクリニック 安佐南内科リウマチ科クリニック

医療法人 MIRAI・BOSHI



▲リウマチ・膠原病疾患はもちろん、総合内科として幅広い診療を行っています

院長紹介

PROFILE
舟木 将雅 先生

日本リウマチ学会認定専門医・指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、Master of Project Design

医師紹介

PROFILE
河野 美保 先生

日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

MESSAGE

当医療法人は、「心をつなぎ、自分らしく生きることを支える」をパーパスとして、人と人との対話を大切に、多職種連携で「ゆき届く医療の実現」を目指しています。リウマチ・膠原病専門チームでは、さまざまな専門職が在籍してトータルケアを提供。フェムケアについてはグループ事業として、手足から女性の健康を目指します。今こそ、後回しにしてきた「わたし」を大切にするために、「わたしの健康」を一緒に考えてみませんか。

手指のこわばりや痛みは、関節リウマチの可能性がります

男女共通で起こり得る病気にも性差があり、骨粗鬆症、関節リウマチなどは女性に多い疾患であることが報告されています。同院ではリウマチ・膠原病・骨粗鬆症の専門的かつ正確な診断をするため、血液検査、X線検査、骨密度検査、エコー検査、CT検査を院内で実施。関節リウマチの早期診断には、関節エコー検査を行います。

リウマチ・膠原病は間質性肺炎を併発することが多く、早期発見や病状のフォローにはCT検査が最適。同院では10分程度で撮影できるCTを完備し、呼吸器専門医と放射線科医が正確な診断と今後の方針を伝えてくれます。

女性のためのフェムケアドックを実施

フェムケアドックとは、女性の健康を管理することに特化した検査も行う人間ドックのこと。血液検査（リウマチ・甲状腺を含めた項目）、エコー検査と骨密度検査を組み合わせた、痛みがなく時間がかからない検査です。女性特有のがんを早期発見することも大切ですが、男性でも女性でも起こる可能性がある病気の中に性差があることを知り、女性にあった健診を受けることも重要です。

同院では「MedaCa」というアプリを採用し、検査結果をスマートフォンに送っています。結果を早く知ることができ、他院を受診する際にも活用できて大変便利です。

安佐南内科リウマチ科クリニック

広島市安佐南区伴東 5-21-35
082-849-6200
<https://www.asaminami-clinic.jp/>

- 診療科目：内科、リウマチ科、呼吸器内科
- 休診日：日曜、祝日
- 予約制：あり

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:00	○	○	△	○	○	○	△

予約制 53台 無料

アクセス：アストラムライン伴駅より徒歩8分



▲多職種連携リウマチケアチームが、身体的・精神的サポートを提供します
 ▲血液検査や画像検査を通して正確な診断を行います



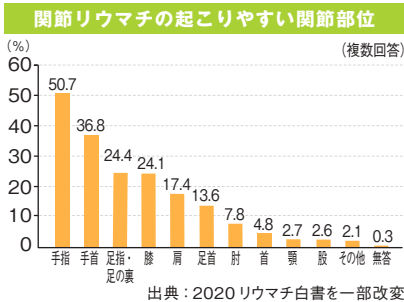
手指のこわばりや手足の痛みは女性に多い症状です

手足の痛みを我慢していませんか？

手指にこわばりや痛みがあっても、「使いすぎかな？」年のせいだろう」と我慢する人が多いのではないのでしょうか。手足の関節が腫れたり痛くなったりする病気の中には、リウマチや膠原病といった自己免疫性疾患があります。

関節リウマチになると関節に炎症が起こり、痛みや腫れが持続します。進行すると骨が変形して手首が動かしくなくなったり、指が変形してまいります。関節リウマチの患者数は82・5万人と推定されており、有病率は日本人の0.6～0.7%前後。30～50代の女性に多くあらわれる、比較的メジャーな病気です。

関節リウマチかどうかは、触診、血液検査、関節X線検査、関節エコー検査の結果をみて、総合的に診断します。かつては「治らない病気」といわれていたリウマチですが治療は日々進化しており、薬物療法やリハビリテーションなど適切な治療を行えば、健康的な生活を送ることができます。関節リウマチの痛みや炎症が自然に治ることはないで、まずは専門医に相談しましょう。

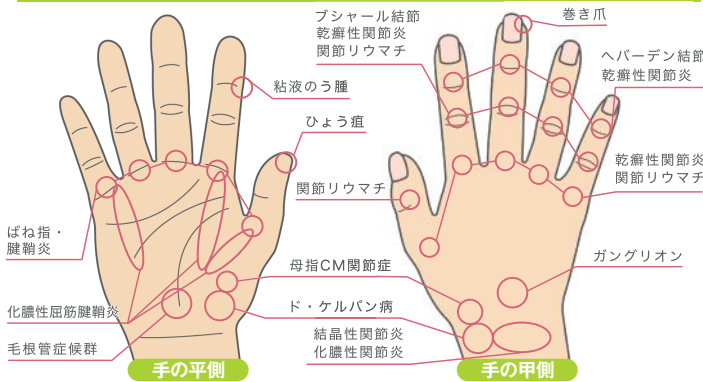


性差医療を意識しましょう

関節の腫れや痛みは、さまざまな原因で起こります。リウマチと症状が似ている病気には、膠原病、腱鞘炎、ばね指、変形性関節症などがあり、女性ホルモンの変動によるゆらぎ更年期でも、手や足が痛くなるケースがあります。

男女の体には泌尿器と生殖器に大きな違いがあり、女性特有または男性特有の病気があります。しかし男女共通で起こる病気でも性差があることがわかっており、脂質異常(コレステロール上昇)、腰痛、肩こり、関節症、骨粗鬆症、関節リウマチなどは、女性に多いと報告されています。性差やライフスタイルを考慮しながら予防、診断、治療を行う「性差医療」を意識することが、女性の健康維持には特に必要ではないでしょうか。

リウマチの症状とまぎらわしい手指の病気



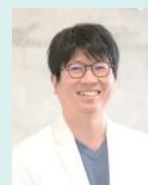
リウマチ・膠原病は女性に多い病気です

関節リウマチや膠原病は女性に多く、関節リウマチの発症率は男性の3倍以上といわれています。家族にリウマチ・膠原病になった人がいなくても発症することがあり、誰もがなる可能性がある病気です。関節リウマチの進行は個人差があり、早い人は発症から6カ月で関節破壊が始まります。手足の不調でリウマチ・膠原病が心配になった場合は、

日本リウマチ学会リウマチ専門医の診察を受けることをお勧めします。

安佐南内科リウマチ科クリニックでは関節リウマチを早期に診断するため、日本リウマチ学会登録ソノグラファーによる関節エコー検査を実施。専門医が学会ガイドラインに準じた治療の説明をした上で、本人の症状にあった治療を提案します。

Adviser



安佐南内科リウマチ科クリニック
院長
舟木 将雅 先生

広島市出身、県立広島病院、広島市民病院、東広島記念病院、中国中央病院、JR広島病院で呼吸器内科、リウマチ膠原病科で診療経験を積み2019年開業。日本リウマチ学会認定専門医・指

導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、Master of Project Design

安佐南内科リウマチ科クリニック

広島市安佐南区伴東 5-21-35

☎ 082-849-6200

<https://www.asanami-clinic.jp/>

詳しい
クリニック
情報は
45ページへ!